1 エリア戦略

戦 略	施 策	重点取組	重要観光コンテンツ 資源・施設
①十里木・水ヶ塚周辺の集客施設との連携強化	宿泊施設の誘致・強化、環境整備 大型観光拠点施設との連携強化	多様な宿泊施設の誘致	水ヶ塚公園 富士サファリパーク ぐりんぱ イエティ MOSS十里木キャンプリゾート
②須山浅間神社と周辺歴史資産の活用	須山浅間神社～(仮称)御師公園周辺回遊ルートの整備 須山地区内での立寄施設・飲食店の強化	富士山裾野ガイド協会との連携強化 須山産の食材を使った名産品の開発支援	須山浅間神社 (仮称)御師住宅・公園 富士山須山口登山歩道
③パノラマロード沿線の観光拠点化	ヘルシーパーク裾野の観光拠点化 近隣の観光拠点開発	ヘルシーパーク裾野の民間活力導入 近隣の食事、土産などの消費、立寄拠点の開発	ヘルシーパーク裾野 パノラマ遊花の里 運動公園
④まちなか強化	交流拠点施設の設置・観光拠点化 まちなかエリアの飲食店、土産物店の誘致・開発 すそのブランド認定品の販路拡大	交流拠点施設の設置 飲食店誘致 新たな特産品や土産物の開発 裾野駅西土地区画整理事業	交流拠点施設 裾野駅・岩波駅周辺 五竜の滝・中央公園

2 テーマ戦略

戦 略	施 策	重点取組
①スポーツツーリズム	準高地トレーニング施設、合宿所などの充実 ラリーなどモータースポーツイベントの実施	官民一体となったスポーツ合宿誘致 地元企業と連携したモータースポーツイベントの実施
②ロケツーリズム	制作会社への営業活動 近隣フィルムコミッションとの連携強化	すそのロケ地アプリを活用したツアー商品化 体験型コンテンツの充実 効果的な情報発信

3 基盤強化

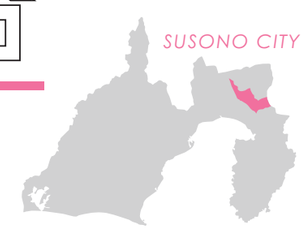
戦 略	内 容
①環境整備	●道の駅…地元特産物の販売、観光情報提供、休憩施設などを兼ね備えた拠点として道の駅を整備し、新たな賑わいの創出や観光交流客数の増加を図ります。エリア戦略④まちなか強化の核となる施設で、各エリアの観光拠点間連携を図ります。 ●(仮称)御師公園…世界遺産富士山の構成資産である須山浅間神社がある須山地区での整備を計画しています。公園機能を備えた歴史資産として、富士山周辺市町へ訪れた観光客が回遊するルートに組み込み、観光交流客数の増加を図ります。 ●観光ルートの整備…本市と箱根町を結ぶ県道仙石原新田線の拡幅、東名裾野ICと結ぶ(仮称)御宿岩波線の整備、富士山周辺地域を結ぶ国道469号のバイパス化など当市と主要観光地を結ぶ観光ルートの整備を、関係機関に要望していきます。
②発信強化	市内各所にある魅力的な観光コンテンツの情報をいかに多くの人へ届けるかが重要です。市の広報媒体やSNSの活用と併せて、市の魅力が伝わる観光情報の拡散に注力します。観光協会や商工会、企業との連携、広域連携のプロモーション活動を通じたPR活動を積極的に行っていきます。
③担い手強化	人口減少による各種業界の人材不足は、観光分野でも同様です。魅力的な観光コンテンツの磨き上げや新たな環境整備による拠点整備が着実に進んでも、観光産業を下支えする従事者を確保しなければなりません。観光施設間の連携を図り持続的な観光産業の仕組みを構築することで、観光産業従事者を確保します。

発行 静岡県裾野市産業振興部産業観光スポーツ課 〒410-1192 静岡県裾野市佐野1059 番地
TEL／055-995-1825 MAIL／kankou@city.susono.shizuoka.jp
URL／https://www.city.susono.shizuoka.jp/

裾野市
観光戦略

概要版

令和6年11月策定 静岡県裾野市



知る人ぞ知る 日本の理想郷
実はここ「裾野市」なんです。

裾野市
マスコット
キャラクター
すそのん

パノラマロード

Ⅰ 策定の目的

本市には、世界遺産富士山や愛鷹山麓などの豊富な自然、首都圏からのアクセスの良さもあり、知名度のある観光レクリエーション施設が立地しています。また、スポーツツーリズムやロケツーリズムといった新たな取組も成果を上げてきました。一方で、新型コロナウイルス感染症により、観光を取り巻く世界は一変し、当市の観光交流客数は大きく減少するとともに、観光客の旅行形態やニーズは大きく変化しました。このような環境変化に対応し、持続可能な観光地を実現するため、行政、観光事業者、市民が協力し、交流人口の拡大と観光産業の活性化に向け本戦略を策定しました。

Ⅱ 計画期間

計画期間は、2024年度から2030年度までとします。今後、社会情勢が変化した場合には、必要に応じて見直します。

Ⅲ 目標

本市の観光交流客数は、コロナ前の2019年度には、約220万人でした。2030年度の観光交流客数の目標値を300万人とし、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光交流客数を回復させ、観光のまちとして発展させるための施策を展開していきます。

観光交流客数

2019年度	2030年度
220万人	300万人

Ⅳ 目標達成のためのアクションプラン

目標を達成するために、重点的に取り組む戦略として、4つのエリア戦略と2つのテーマ戦略、3つの基盤強化に大別し、施策を展開していきます。

01 エリア戦略
①十里木・水ヶ塚周辺の集客施設との連携強化
②須山浅間神社と周辺歴史資産の活用
③パノラマロード沿線の観光拠点化
④まちなか強化

02 テーマ戦略
①スポーツツーリズム
②ロケツーリズム

03 基盤強化
①環境整備
②発信強化
③担い手強化

水ヶ塚公園遊歩道・クロスカントリーコース

エリア戦略 ＋ テーマ戦略 ＋ 基盤強化

周辺市町からの観光人流誘客強化
観光交流客数獲得
都市機能強化

ぐりんば

富士サファリパーク

ヘルシーパーク裾野

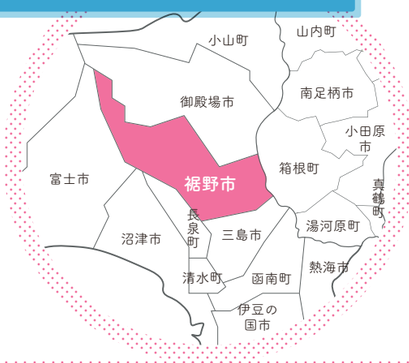
須山浅間神社

ゴルフ場

道の駅

※これはイメージ図です。
建物等の詳細は変更になることがあります。

五竜の滝



エリア戦略①
十里木・水ヶ塚周辺の集客施設との連携強化
- ターゲット：30～40 代家族連れ
- 重点取組：多様な宿泊施設の誘致

エリア戦略②
須山浅間神社と周辺歴史資産の活用
- ターゲット：50～70 代男性・女性
- 重点取組：富士山裾野ガイド協会との連携強化
  須山産の食材を使った名産品の開発支援

エリア戦略③
パノラマロード沿線の観光拠点化
- ターゲット：30～40 代家族連れ
  40～50 代女性、30～40 代男性
- 重点取組：ヘルシーパーク裾野の民間活力導入
  近隣の食事・土産などの消費、立寄拠点の開発

エリア戦略④
まちなか強化
- ターゲット：30～40 代家族連れ
  50～70 代男性・女性
  30～40 代男性
- 重点取組：交流拠点施設の設置・飲食店誘致
  新たな特産品や土産物を開拓・開発
  裾野駅西土地区画整理事業

テーマ戦略①
スポーツツーリズム
スポーツ合宿誘致
モータースポーツイベントの開催

テーマ戦略②
ロケツーリズム
すそのロケ地アプリを活用したツアー商品化
体験型コンテンツの充実
効果的な情報発信

基盤強化①
環境整備
大型観光交流拠点施設の整備(道の駅・(仮称)御師公園など)
仙石原新田線など観光ルートの整備を関係機関に要望

基盤強化②
発信強化

基盤強化③
担い手強化